

大和中央道他4路線の廃止及び石木城線 都市計画(案)説明会概要(2/8)

日時:平成24年8月2日(木) 19時00分~20時00分
場所:大和郡山市植槻町 大和郡山市社会福祉会館
出席者:約24名

[主な質疑応答]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の廃止)に関すること

意見・質問なし

2.石木城線の新設(新規都市計画決定)に関すること

- 病院が出来るとサイレンを鳴らしながら夜間の通るので、やかましいと思っている。騒音軽減を考え、掘割構造にできないのか。
 - 環境基準を満足するように計画をしている。市道との交差が3箇所あり、掘割構造にすると立体交差で複雑な交差点となり、事業費も大きくなる。現況の騒音は60~63dbで、道路ができて現状とほぼ変わらないと予測している。この病院は、平成18年頃の周産期の不幸な事故もふまえて、県民に安全に安心して暮らしていけるよう計画しているもの。救急車のサイレンについては病院付近においてはサイレンを消すなどの処置も考えられる。地元にはご迷惑をかけるが、人命救助のため、病院の機能も考えていただき地元住民にはご理解と協力をお願いしたい。
- 旭ヶ丘における3箇所の市道については平面交差になるのか。
 - 旭ヶ丘から石木城線への3本の市道の取り付けは平面交差で計画している。枚方大和郡山線に接続するのは北側の奈良市境界にある市道と南側の改良済みの大和中央道との交差点の2箇所を考えている。
- 1番北側の奈良市との境界の市道はどうなるのか。段差ができるのではないのか。
 - 交差する部分は、平面での交差を考えている。市道を取り付けるに当たっては、市道の勾配を少し修正しながら、詳細な計画をたてることになる。
- トンネル区間に歩道がないが、歩行者交通をどう考えているのか。
 - この歩道を利用になれるのは病院を利用される方が多いと考えている。トンネル内は歩行環境も良くないことから、歩道を整備しないこととした。病院敷地内に遊歩道の設置を計画しており、そちらを歩いて来院していただくように考えている。
- 今回は道路計画の大きな方針をお話していただいているように思うので、詳細が決まった段階で、また説明していただきたい。3箇所の取付道路は危ないので、旭ヶ丘の公民館で詳細を説明してほしい。
 - 現在の計画は航空測量に基づき2500分の1の地図の精度で計画をしている。都市計画決定後、地元の協力、会長にご尽力を得ながら詳細な測量を行い、それに基づいた詳細な計画を作成して、説明会を開催させていただきたい。取付の市道については、市と地元と協議していきたい。
- 計画交通量の5,900台/日は現在の交通量を調べたのか。また、病院建設を見込んだ予測なのか。
 - 計画交通量は平成17年の交通量調査を基に将来人口等の条件をもとに平成42年の交通量を

予測したものであり、病院建設も見込んだ予測になっている。

○現在の交通量は、どのくらいか。

→現道の枚方大和郡山線の柳町工区付近では、平成17年で約5,400台/日で、平成22年では約4,500台/日となっている。

○平成28年の病院開院にあわせて開通を考えているのか。現在、木島バス停にバスが停車すると対向できない状態なので、石木城線が整備されるとありがたい。

→「患者さんを絶対に断らない命を救う最後の砦」となる病院であるので、平成28年の開院までには開通させたい。用地買収もあるので地元の協力を得ながら早め早めに交渉を進めていきたいと考えている。

3.その他

○過去から要望しているように奈良市との境界の市道の拡幅を考えて欲しい。

○3箇所の市道において最近交通事故が増えている。県道が便利になり、平面交差をするのであれば、市道の交通量が増えるのではないか。

→市道を利用されている方がどのような利用をされているのか詳細まで分からないが、いくらかの通過交通も流入していると考えている。市道に流入している通過交通については事業中の城廻り線、柳町工区を通過していただくように交通処理をしたいと考えている。

○新県立奈良病院は他の病院と役割分担を検討しているのか。

→役割分担の調整は行っており、役割が重複しないように考えている。